









 ○心．


## 

$\qquad$












 －-




























## 
















## H葹囚深四





















## 

昆わけ







納企 1



































































 ${ }_{0}$










人



















小
林
委
$\qquad$
$\qquad$胡






















世係2














。



































制密





















 の


水












1家文疾ある




















\％扱 あ あ莒庭慮 $\square$ な な桀花管柱管嘘






届の

重 号人 ゆ 仕
























## 

























朣







 ＋＋

そらあと病る童る

























宫 未



## 承㐓 

誀上
人







回场




㼁营






































|  |
| :---: |

$\qquad$





















































中






















て，水 c

$\frac{2}{2}$ 0堞 ず ，に こ經振
0
上
上 局
に杪






















































第



 $\qquad$






















## 














































思
〈る






以2

































 $\tau$

方各承現父悲よはめ
天










 あ湆
る
提

 は
信
あ
あ
，
信
卷
に





 いNa务珡羡何何へ噺 は










党










## 













 $\cdots シ ロ^{\circ}$ mid





 $\qquad$弯
章







 $\begin{array}{ll}b & \text { 此 } \\ \vdots & \varnothing \\ \text { 樓 } \\ \text { 如 }\end{array}$

























































人絞路
 00日






㨝
取
否
拾
事














一信所はと委願「海つの者自自自つ ら力になぁのの然ばばを
 とずねしら，しふづば こちれ
子荈 は
夗なす輔ぐら。合云造兑：

 ずは
る
か












施










樂味

四 $\qquad$





















首信ら等のにの ゙





 の造 8 艮恩 し然名佛 や
に
に
な方御代

[^0]
## 

 て乘都所て現身敵減








## 從 <br> > る












































に゚る「和，討赠の境， しく對うで て゚してある
自䈠㧴

は
黁
思


 つ「大゚水る「例＂解，の
 のからず減ていと雄りし， がしゃふひいて， ありらロたのは，忘，濦， 50ねロとった想，撃 を佛し荗，は，な
 のは，失括って，



 げ夎「で「何’小「乘
 の゚の「，減徒「は く゚光の兴咊りは，

























## 












落







炎

仰路溙筲 あ。慗加管自



$$
\begin{gathered}
\text { いれての } \\
\text { 私とあ 字 }
\end{gathered}
$$


－


 な。
$\qquad$
之，

 $\qquad$
減 ${ }^{2}$
いい なっす。楽 の，ば即，

にがと「常「て

$$
\begin{aligned}
& \text { ら綵に味"て } \\
& \text { ज1 }{ }^{2}
\end{aligned}
$$

$$
\begin{aligned}
& \text { 罙居, }
\end{aligned}
$$

思い見
站
$\begin{array}{ll}c \\ \tau \\ \tau & \\ n\end{array}$

私とあ に，\＆る は れば意がか
は異
曾る二あ

| が |
| :---: |
| 出 |

いある


？




大を鼻吅し然？ は，皇行

 が等守
象が莫。 しくつにへへ を
おの年ぐな
と－－b


# $\qquad$ 












信
濃
訶
哥
$\qquad$莫


cos

NN＋つつか

がのNさー

く～～）縕

母










共が信の得を如とさ家病果中曰と黄の檌微彪在がみし鄉個よ見き於 ににず行ざ引何して人むし止くし之機を透厚，如見いににらずるは

油即のに吉中て事ら感我病る家かへかか滕㥵る何同 陀る信村止き落上くは此良に此をんし死あべ頃ざるりを互＂れ朋一の信仰求ま心に に，・の日，事さをてすらし白るのし変の一もに月御仰の道ざ地し



水亦にべとふるとて呼佛くもすあ此もをく信て糷三然信信ならに沓

至局 「咸を゙と答かって此せ者の春其くも し し 來にらになのと年 りし敎じれをにと日のらの慈日最相人昨，济る達に人く理本桃人源



し大石乘問明信を氏らてく地に每

供りら敨ず告袐島十信回態は二

咸人中出想，＂行椥告大ら满の


其何は兵•滩日郎間•臭り室つ道
他を阬閔敬を信をな屁れ儿狄求

求の承光にから論しし寈低は監承道能京并其如曾てを相田臨ずす。

人气ゆは揚埴炏进，比は仰し，き日ず森毎ぐ接郎へ又は本談•時

熕掌信熱其取桸質本仰に筜全也。


仰日き會てれ仰生し島力す日をで曾









話通溜信ずー道桃り一以一四のと恃安
徘し宿を老二非てが基＂氯五氏て本佛
到受心炮女裡效面年监求特㒳に氷は下年


㒄は夜ずるめ陀をも神の夜はにちて

大俆霜特蔵每大め反也敛話•話六留



|  |  |
| :---: | :---: |
|  |  |




[^0]:    －せ －号

